

第44期（平成27年度） NEP工業会総会・春季研修会 概要報告

第44期（平成27年度）通常総会、経営者研修会ならびに春季研修会が以下のとおり開催された。

開催日 : 平成27年 6月18日（木） 19日（金）
開催場所 : 新・都ホテル（京都）
総会出席社 : 56社（会員社60社 白紙委任4社）

1. 第44期通常総会 6月18日 14:00～15:00

(1) 荒川会長挨拶

開催にあたり挨拶した荒川会長は、業界を取り巻く環境に触れ、大手舗装会社では4月以降アスファルト合材の出荷量が減少すると見ており、道路用製品を使用する工事の減少を示唆している。その一方で、関西に本店を置くスーパーゼネコンの土木事業部では、生産力の向上を図る手段の一つとして「プレキャスト化の推進による省力化」を掲げており、コンクリート製品業界は良い意味で変化をしているとの見方を示した。

またNEP工業会の活動状況について、年2回の春季・秋季研修会に加え、昨年度は4年半ぶりとなる米国東海岸視察研修会を実施した。また、工業会の取扱製品の販売実績について、平成26年度は約21億円、累計では約1,117億円となった。

基幹商品の一つである大臣認定擁壁「ニューウォルコン」の認証工場が現在の24工場から今年度には31工場になる見込みで、ハイ・タッチウォールを除くL型擁壁の認証工場の数としては、全国で最大となる見通しである。商品開発委員会で4年前から開発に取り組んでいる「NEPアーチ」は、FEM解析ソフトが完成し、今年度は実績作りに向けた活動に全力を挙げると共に、これまで以上に有益な会となるよう努めていく所存だと述べ、会員各社に協力を求めた。



(2) 議案審議

荒川会長を議長に選出して、次の第1号～第6号議案の審議を行った。

- 第1号議案 平成26年度事業報告
- 第2号議案 平成26年度決算報告及び監査報告
- 第3号議案 会員資格の承認
- 第4号議案 平成27年度 監事の選任
- 第5号議案 平成27年度事業計画(案)
- 第6号議案 平成27年度事業予算(案)

第1号議案～第6号議案まで、全て原案通り可決承認され閉会した。

閉会后、優秀会員表彰では、NEP工業会取扱商品の販売に貢献した5社が表彰された。

2. 経営者研修会（114名が参加） 6月18日 15:30～17:00

- ・演 題 : 「習近平政権下で激変する中国と日中関係」
- ・講 師 : ジャーナリスト/拓殖大学海外事情研究所
教授 富坂 聡 様

中国ではインターネットの普及により民意が無視できないほど大きな力になっている。また、日本では想像できないほど格差が拡大し、「報復社会」がキーワードになっている。文化



大革命を経験しているだけにいつ革命が起きてもおかしくない状況にある。習近平体制が抱える深刻な課題はそこにあるという。さらに中国の GDP 成長率は 7.5%もあるが、大学生の就職内定率は 30%しかなく、コネが無ければ一流大学を出ても蟻族と呼ばれる悲惨な生活が待っているだけだ。こうした苦しい生活から生まれてくる怨嗟の気持ちは半端ではない。「貧すれば乱を思う」という言葉が中国にはある。5 年後、10 年後の自分の暮らしに展望が持てなければ、世の中をひっくり返した方がチャンスがあるという発想が生まれてくる。権力の座に居ても安泰では無い。習近平自身も少年時代、父親が政治犯として逮捕されるなど辛酸を味わってきた。いわば最底辺から中国共産党に入党を果たしたたき上げだ。それだけに日本人が向き合う相手としてはかなり大変な人物だが、日中関係を築くには最大のチャンスになると見ているという。11 月に「脱露入米」の外交方針の大転換を行ったからだ。これはウクライナ問題で米露関係が抜き差しならないところまで緊張感が高まるだろうと中国が判断したことを意味する。今後、南シナ海で小さなトラブルはあるかもしれないが、大きな流れとして中国と正面衝突する可能性はない。これと連動して中国の対日姿勢は大きく緩むであろう。しかし中国や北朝鮮とは友好関係を築けないという今の政府の発想が日本を縛っており、その発想から抜け出せない限り国際社会で本当のパフォーマンスは出来ないだろう。と述べた。
(引用：週刊ブロック通信 記事原稿)

3. 春季研修会 (107 名が参加) 6 月 19 日 9:00~14:00

- (1) 運営・商品開発委員長 挨拶
- (2) 3 プロジェクト報告 (NEP-Think、技術懇談 PJ、東北震災復興 PJ)
- (3) 製造原価低減に係わる最新の製造設備の紹介
 -) 株式会社 北川鉄工所 名古屋支店 営業課長 外林 徹也 様
 -) 株式会社 チヨダマシナリー 取締役社長 山下 則夫 様
 -) トヨタ工機株式会社 取締役営業部長 永松 弘臣 様
- (4) NEP アーチの開発について (商品開発委員会)
 -) NEP アーチの安全性の評価方法と評価事例について
 - 竹脇技術士事務所 代表 竹脇 尚信 様
 -) NEP アーチ用 FEM 解析ソフトについて 委員 星田 典行 様
 -) NEP アーチ製造・築造方法について 委員長 新田 裕之 様
- (5) 網走管内コンクリート製品協同組合に対する排除措置命令について
 - 會澤高圧コンクリート株式会社 取締役開発営業本部長 赤坂 武信 様
- (6) 護岸ブロックの明度証明について
 - (公社)全国土木コンクリートブロック協会 技術委員長 金丸 和生 様
- (7) 運営委員会からの報告
 -) 資材アンケート調査結果報告 運営委員会 委員 山下 真靖 様

以上の内容で春季研修会を閉幕した。

盛り沢山の内容かつ会員各社の絶大なご協力のおかげで充実した研修会となった。

また資材アンケート調査では他に類を見ない 100%の回答率であり、NEP 工業会会員社の熱意を感じ、春季研修会を終えることが出来た。



平成 27 年度 NEP 工業会 秋季研修会の予定

日時 平成 26 年 11 月 19 日 (14:00~) 20 日 (9:00~)

会場 東京ガーデンパレス (御茶ノ水) で開催します。

(現場視察を企画する予定です。)

以上